

# 令和2年度 留萌市立東光小学校 公開研究発表会



## ワクワク・ドキドキ・フムフム

## する授業づくり

～国語の授業における対話的な学びをとおして～



# 主題設定について

教育を取り巻く情勢

新学習指導要領  
資質・能力を総合的に育てる  
主体的・対話的で深い学び



東光小の児童

- ▲「話す・聞く」「読む」への苦手意識
- ▲「言語事項」の理解が低い



教員のアンケート

- ▲自分の考えをもたせる場の設定
- ▲語彙の乏しさ
- ▲交流の形骸化



研究主題

ワクワク ・ ドキドキ ・ フムフム  
する授業づくり

～国語の授業における対話的な学びをとおして～

ワクワク？



ドキドキ？



フムフム？



# 東光小が目指す子ども像

豊かな語彙力

積極的な対話

多種多様な見方

3つの姿が…

東光が目指す



バランスよく育つと…

子どもの姿



## 仮説1

学習課題や授業展開の仕方の工夫, 安心感や必要感のある対話の場面設定など, 子どもたちの「考えたい!」「話したい!」という気持ちが膨らむようなしかけをすることで、積極的に学び、自らの考えをもてる子どもを育てることができるだろう。

## 仮説2

1単位時間の中に、豊かな語彙や対話の基礎をベースとした関わり合いの場面を設定し、対話の質をあげていくことで、互いの考えの建設的な交流をしたり、多種多様な考え方をもとに、自ら学習を深めたりする子どもを育てることができるだろう。

# 研究の視点

## 視点1 主体的な学びを生むための「しかけある」指導展開の工夫

### 課題の工夫

選択型や  
疑問型課題

### 対話の場の設定

必要感や安心感  
を意識して

### ふりかえり

フムフムシート  
の作成・活用

## 視点2 「対話的な学び」を充実させるための工夫

### 学習形態の工夫

グループ？  
回転寿司方式？

### 対話の土台

返事や2つの「きく」  
語彙指導の充実

### 思考ツール

思考の可視化  
対話の支えに

# 今年度は・・・

## 視点1 自分の考えを確実にもつための課題の工夫

### ① 選択型課題



大造じいさんのやる気が、一番分かる部分はどれ？

7行目の〜〜〜かな…？



私は9行目の〜〜〜だと思うな。

ズレ

### ② 疑問型課題

筆者が伝えたいことはなんだろう？

T：昨日の学習で、どんなことが分かった？

C：言葉は、事実と結びつけて使うことが大切なんだって！

T：でも、次の行に、「そうではなさそうです」って書いてあるよ？

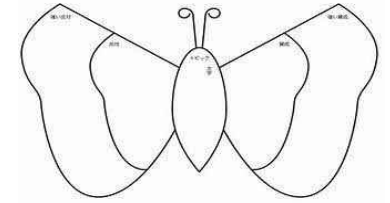
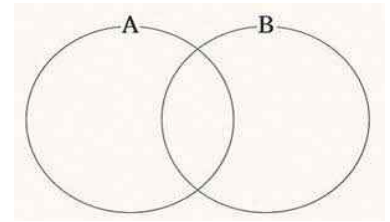
C：筆者が本当に言いたいことって何なんだろう？



## 視点2 対話へ向かうための思考ツールの活用

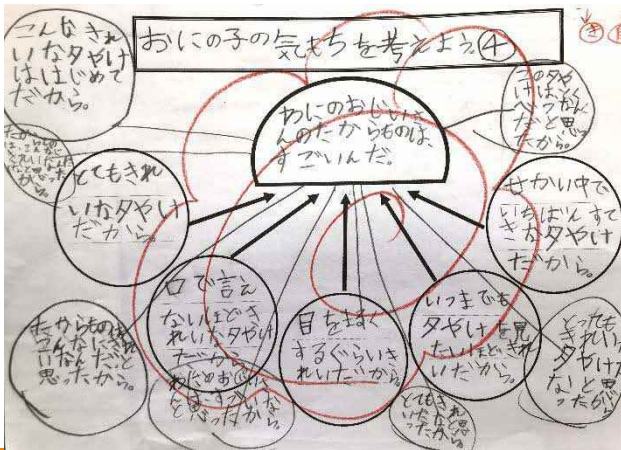
課題に応じたものを適切に選択する

対話を充実させるものとしての活用



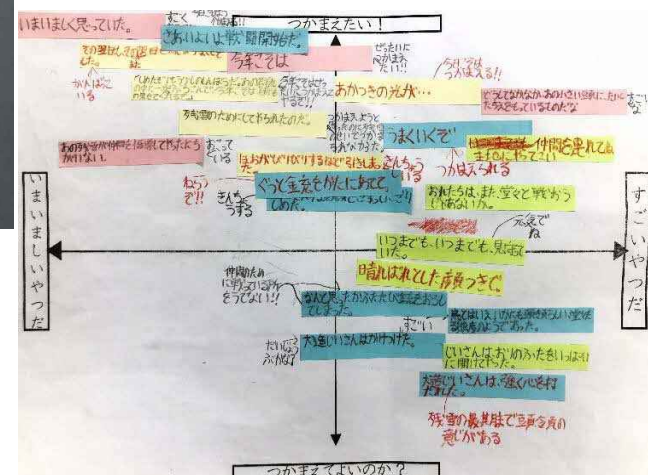
### 今年度の実践では・・・

2年「わにのおじいさんのたからもの」くらげチャート



4年「ごんぎつね」スケールチャート

5年「大造じいさんとがん」座標軸



## 成果

疑問型・選択型を場面に応じて使い分けができたのは良かった。特に選択型課題を活用する際は、他者との「ズレ」を十分に感じさせ、問題意識を引き出すことで、主体的に課題解決に向かえるような工夫が見られた。

個人思考で考えを書くのが難しい児童も、思考ツールがあることで、自分の考えを伝え合ったり、友達の意見を参考にしたりする姿が見られた。対話の際に追記する姿も見られた。

フムフムシートにより、教師も児童も単元の見通しを立てることや自分の変容について振り返ることができた。

## 課題

思考ツールそのものの選択は適切だったが、児童の実態に合わせて、使い方に一手間加えたり、簡易的にしたりする必要がある。また、対話の際に活用する意識も、今後、高めていきたい。

フムフムシートの運用の仕方にバラツキがあった。また、記入する内容、量については、低学年にとっての負担なども鑑み、検討する余地がある。





よろしくお願いします



短い時間ではありますが、この後の協議では、忌憚のないご意見をよろしくお願いします

# 令和2年度 留萌市立東光小学校 公開研究発表会



## ワクワク・ドキドキ・フムフム

## する授業づくり

～国語の授業における対話的な学びをとおして～



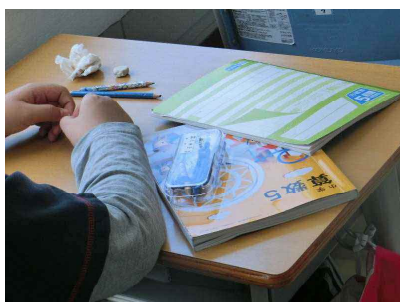
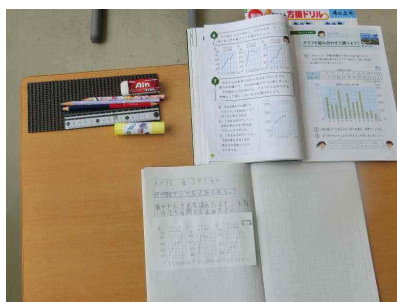


## 学習規律の再確認を!

前号で「焦らずゆっくり・・・」と書いたばかりですが、休校が開けて2週間が経ちました。子どもたちも先生方も大変な2週間でしたが、子どもの様子を見ると先週よりも確実に調子を取り戻しているように感じます。新型コロナウイルスの脅威も薄れつつあり、自由気ままな子どもたち。学習規律など、いろいろと気を引き締め直す必要があるようです。4月当初、各学級で確認されたことと思いますが、今一度きまりを確認していただければと思います。



休校開け、多くなったのが右写真のような座り方。おしりが前に出て、姿勢が保てなくなっています。筋力も落ちているのかもしれませんが、弛緩した状態では集中して学習に向かえないのは当然。姿勢について、今一度ご確認ください（※その際、椅子と机の高さがその子に合っていないこともあります。私も調節する器具を持ち歩いているので、声をかけてください）。



机の上がぐちゃぐちゃの人も多くなりました。作図などの道具が多かったのも原因でしょうか。注意点として、①必要のないものはしまう ②4点セットは机上に整理して置く（4点必ず出す必要もないので、学年に応じて判断してください） また、

持ち物の問題として、③鉛筆削りは休み時間に使う ④消しゴムは白くてよく消えるしっかりしたもの（小さくちぎった？消しゴムを大量に置いている子が結構います。1つで十分！） 更に、消しゴムのカスを集めて、ねりねり練り消しもどきを作っている人が相変わらずいますが、床や机の脚を汚すため全面禁止でお願いします。

集中力が落ちている今、できるだけ集中を途切れさせない工夫をお願いします。

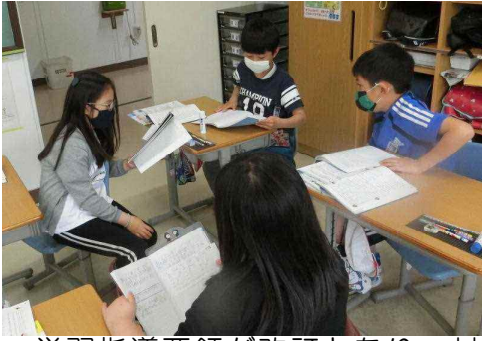


学習規律については一昨年まで、「10の約束」として学級掲示し、学期ごとに振り返ってもらっていましたが、もう十分かと昨年度廃止しました（TOP ミーティングにて）。でも、今また必要になっている気がします。掲示物、作ったら指導に生かれますか？ご意見をお聞かせいただければ幸いです。必要だという声がありましたら、作成に踏み切らせていただきます。

裏に続く→



## 友達と意見交流を



感染症予防のため、授業の中でもいろいろな制限がかかっていますが、先週から友達との交流が始まりました。左写真は4竹の授業。折れ線グラフから読み取ったことを交流しています。人との距離を取りながら、意見を伝え合う姿がステキでした。新生活スタイルならぬ、新学習スタイルでしょうか。

学習指導要領が改訂となり、対話的な学習が求められています。今までそれどころではありませんでしたが、これからようやく取り組んで行けそうですね。昨年度までの研究も参考に授業に生かして進めてくだされば幸いです。

## 白熱!計算はかせ大会

予想以上に盛り上がりを見せ、練習用のプリントは毎日飛びようになくなっていきます。嬉しい反面、白熱しすぎが心配です。得点順位も大切ですが、できれば伸び率順位を狙ってほしいです。個人の伸び率上昇も紹介できたらいいなと思っています。より子どもたちの頑張りが紹介できるようにしていきたいと思います♪

・・・ちなみに大会は第4回をもって1度終了。今度は・・・かけ算か、引き算か・・・



## 研修へのご協力,ありがとうございました!

7月31日(金)に行った学力向上研修には、皆さん1学期終了後のお疲れの中、熱心に参加・検討していただき、ありがとうございました。話し合った内容について、忘れないうちにまとめましたのでご覧いただき、2学期の指導に生かしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



### 1) 問題の傾向

- 情報量が多く、全部読んで答えるのに時間がかかる。
- 文章の中から「何を聞かれているのか」必要  
なところを見つけるのが、子どもには難しい  
と思う。
- 問題自体の難易度は低い。
- 教科書のように、一人の考え方でなく、複数の人の考え方が出てくる。また、問題内容も教科書  
などで扱った問題の類似が多い。
- 特に高度な問題を取り上げるのではなく、日常生活に関わった問題が多い。

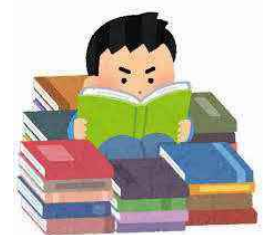
今まで B 問題に悩まされたことのある先生方には、拍子抜けするほど簡単な問題だったのではないのでしょうか。問題が一本化してから、難度が下がってきてはいたのですが、今年は輪をかけて簡単になっているように思います。とはいえ、学習指導要領が改訂されてから初めての学力状況調査。「主体的・対話的で深い学び」で育成される能力が試されているのでしょうかね。

### 2) 学年で取り組んでいくこと・学校全体で取り組んでいくこと

～学年で検討していただいたこと(一部補足)

	取り組む内容・方策
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題のイメージや意味をつかむために、問題の可視化や具体物・半具体物の動作化(活動)をたくさん取り入れる。</li> <li>• 問題文の読み取りのために、数や問われていることに線を引く。</li> <li>• 「何人?」→「3人」などといった、答え方の確認。</li> <li>• 説明する経験を積む→指示語などには問い返しを使って修正していく。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文章問題になれる(国語と連携して)。</li> <li>• 説明する文を書く経験をさせる。その中で的確に書く(必要のないことは書かない)練習をしていく。</li> <li>• 読む(理解する)スピードをアップさせる。</li> <li>• 下位の児童については、逐次読みから言葉のまとまりを意識した読みにしていく。</li> </ul>

3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を速く読む～必要な情報を整理しつつ、要点を押さえながら読む。</li> <li>グラフの読み取り</li> <li>基礎・基本的内容の定着</li> <li>相手意識をもった話し方・書き方を普段から意識付ける。</li> <li>語彙力（一般語彙・算数用語）を付ける。</li> </ul>
4 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>素早くまとまった文章を読み取ること。</li> <li>提示された言葉や式を使って説明したり、既存の説明文をもとに数値を入れ変えて説明する問題の練習。</li> <li>他の人の考えや、誤答の理由などの説明。 ～教科書の問題を中心に組み組んでいく。</li> </ul>
5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞かれていることは何か」をすぐに理解し、大事なポイントを探す訓練。</li> <li>漢字を正しく読めるようにする。</li> <li>速読</li> <li>説明を「書く」力を身に付ける。</li> </ul>
6 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト対策。長文などの問題に慣れる。</li> <li>読書を大切にし、イメージしながら読ませる。</li> </ul>
全 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題文に正確に答えるための取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・印を付ける</li> <li>・補助計算やイメージ図をかく（消さないこと）</li> </ul> </li> <li>○文章を的確に読むための取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・速く読む（理解する）訓練</li> <li>・要点を考えながら読む</li> </ul> </li> <li>○自力解決の時間を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が読んで聞かせたり、解き方を教えたりせずに自力解決する。低学年からの積み重ねを大切にする。</li> </ul> </li> <li>○読書習慣の確立→図書室の利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書時間の確保</li> <li>・速く読むことが必要となるような学習活動を！</li> </ul> </li> <li>○集中力を鍛える</li> <li>○書くことへの抵抗感をなくす <ul style="list-style-type: none"> <li>～何でもかんでもびっしり書かせる。図工の鑑賞や感想、日記などできるところから。</li> </ul> </li> <li>○相手意識をもって、適切に言葉を用いながら、説明する練習</li> <li>○計算大会のように、文章題大会をする。</li> </ul>



全体的に共通していることが多いですね！みんな感じていることは同じ。いかにして的確に読ませるか・適切に書かせるか、というところでしょう。それに向けて、全校的な取組を今後係から提案させていただきますので、ご協力をお願いします。

また、各学年で話し合ったことは、2学期から意識して取り組んでいただければ幸いです。  
また、それについての実践と経過について交流できたらいいなと思っています。



## 学力状況調査・質問紙を見ってみました。



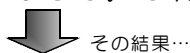
以前テスト結果の分析についてはお配りし、実践を重ねていただいているところと思いますが、質問紙の方も少し紹介したいと思います。項目上の数字は「そう思う・どちらかというと…」を合わせたの数字になります（朝食は除く）。

### 日常生活

- 朝食を毎日食べている児童が94.1%（昨年86.0%）で、朝食を摂る習慣がある。（どちらかといえばしているのが2名、あまりしていないのが1名と思われます）
- 「家の人（きょうだいを除く）と学校での出来事を話しますか」……82.3%（昨年75.4%）で、保護者に学校のことを話している子が多いようです。
- 「学校のきまりを守っていますか」……98.1%（昨年94.2%）で、規範意識が高い（と思っている）子が多いようです。

### テレビ・ゲーム・スマホ

- スマートフォンや携帯電話を持っている～65.7%で、そのうち54.9%の子は、まあきまりを守って使っている。携帯などの所持率は高くなってきました。
- 「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていきますか」……決めていのが56.9%、あまりないのが43.2%で、子どもに任されてしまっている家庭が多め。



- ◆平日、テレビ・ビデオ・DVDを見る時間が2時間以上の子……43.2%
- ◆平日、テレビゲーム（携帯・スマホなども含む）の時間が2時間以上の子……43.2%
- ◆平日、携帯やスマホ（メール・インターネット等）の時間が1時間以上の子……35.2%

※これは同一人物が重複していることが考えられます。3分の1くらいの子が、学校から帰ってからの時間の多くをゲームやテレビ、スマホで費やしているものと思われます。

### 家庭学習・読書

- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」……74.6%（どちらかといえば…の方が多い）
  - 平日の学習時間が1時間以上の子……58.9% 30分以上1時間未満……39.2%
  - 土日の学習時間が1時間以上の子……72.6% 全くしないは0%でした。
- ※平日の学習時間が1時間以上の子は、昨年63.2%だったので、少々家庭学習時間が短くなりました。土日の学習時間については、少しずつ伸びが見られます。
- 「学校の授業以外に平日どのくらい読書をしますか」……30分以上が21.6%  
全くしないが45.1%
- ※すさまじく読書離れが進んでいます。（昨年度は、30分以上が49.1%、全くしないが

15. 8%でした。)

- 「新聞を読んでいますか」……全く読まない～76. 5% (昨年38. 6%)

※新聞を取っていない家庭が増えているせいもあるかもしれませんが、いずれにせよ活字離れが深刻になっています。



### 国語・算数

- 国語の勉強は好きですか      好き～58. 8%
- 算数の勉強は好きですか      好き～66. 7%
- 国語の授業の内容はよく分かりますか      分かる～86. 3%
- 算数の授業の内容はよく分かりますか      分かる～90. 2%

※算数の方がよく分かって好きなのに、どうして成績が良くないのでしょうか……

- 「国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」……74. 5%
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるように工夫してノートに書いて理解するようにしていますか」……86. 3%

※こんな具体的なことも聞かれます。ちなみに上記2点は、本校の数値目標に挙げられているものなので、意識して取り組んでいただけるとありがたいです。

### こんなことも聞かれます…

- ◇先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか……96. 1% (高評価！)
- ◇ものごとを最後までやり遂げて嬉しかったことがありますか ……96. 1%
- ◇人の役に立つ人間になりたいと思いますか ……98. 1%
- ◇5年生までに受けた授業でコンピューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか
- ◇5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。
- ◇5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。
- ◇5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
- ◇5年生までに受けた授業で、調べたことや考えたことを800字ぐらいでまとめたことがありますか。

……などなど、いろいろです。質問内容は毎年変わるので、今後どうなるか分かりませんが、言えることは、学年に関わらず、普段の授業一時間一時間を丁寧にやるのが大事だということでしょう。

そして、危機的状況なのは「読書時間」。11月は読書月間ということもあり、学力向上の目標も

### 「読書時間を確保し、しっかり読もう」

としました。楽しく読む習慣づくり、そして、問題文などの「文章を最後までしっかり理解しながら読む」ことを大切にしていただけたらと思います。